

避難所における

新型コロナウイルス感染症対策

避難検討時の確認事項

〈避難する前の体調チェック〉

- 次の症状がある方は、避難所へ行く前に山武健康福祉センター（☎047515410611）に連絡し、指示に従ってください。
- ① 息苦しさや強いだるさ、高熱などの症状のいずれかがある方
 - ② 重症化しやすい方（高齢者や妊婦、基礎疾患がある方など）で、発熱や咳などの比較的軽い症状がある方
 - ③ 前記した①と②以外で、発熱や咳などの比較的軽い症状が続いている方

〈知人宅などへの避難を検討〉

自宅での安全確保が可能な場合は、感染リスクなどを負ってまで避難所に避難する必要はありません。自宅に留まることも検討してください。

また、避難する場所は町が開設する避難所だけではありません。可能な場合は、災害の危険性がない親戚や友人宅などへの避難も検討してください。

普段から災害に備えましょう

災害対策には、自分で自分の身を守る「自助」、地域の住民同士で助け合う「共助」、行政機関が行う「公助」があります。

災害時に被害を抑えるには、普段からの備えが重要です。まずは1人でもできる「自助」から始めましょう。

備蓄品や非常持ち出し品の準備

町の備蓄品には限りがあります。チェックリストを参考に自身でもご用意ください。

家具の転倒防止

ドアや通路が通れない、家具が倒れてくるという事態を防ぐためにも固定用品などで対策してください。

家族間の連絡方法の確認

災害時の連絡方法を決めておきましょう。NTT東日本の提供する災害伝言ダイヤル（171）の利用も効果的です。

自宅周辺の確認

河川や崖の付近では、大雨による洪水・土砂災害の被害が想

芝山町情報メールの登録

芝山町では、住民の皆さんの安全・安心な生活のため、防災防犯情報や町からのお知らせをメール配信しています。

携帯電話をお持ちの方は、次のQRコードからご登録ください。登録は無料です。（QRコードが読み取れない方は、芝山町情報メール登録用アドレス t-shibayama@sg-m.jp へ直接空メールを送信してください）



定されず。ハザードマップやちば情報マップ等を参考に、土砂災害警戒区域などを確認しましょう。自宅周辺に危険箇所がある場合、より早めの避難を心掛けましょう。

— 備蓄品・非常時持ち出し品チェックリスト —

非常食など

- 簡易食糧、飲料水（最低3日分以上）
- 離乳食、粉ミルクなど（乳幼児のいるご家庭）

感染症対策用品

- マスク
- 消毒液
- 体温計

貴重品

- 現金
- 通帳
- 印鑑
- 身分証明書
- 健康保険証

衣類

- 上着、下着
- 雨具
- 軍手、靴下など
- タオル

衛生用品

- ティッシュペーパー
- ウエットティッシュ
- 爪切り、綿棒など
- ビニール袋
- 生理用品

生活用品

- 毛布
- マット、座布団など

医薬品

- 救急セット
- 常備薬

その他

- 懐中電灯
- 乾電池
- ラジオ
- ブルーシート、土のう袋
- 防寒具（カイロなど）
- 熱中症対策用品（塩タブレットなど）



▲非常食や飲料水などを備えておきましょう



▲懐中電灯やラジオなどを備えておきましょう

【地形要件】
急傾斜地（傾斜度30度以上）

■基礎調査予定箇所を選定条件

※「基礎調査予定箇所」とは、土砂災害防止法に基づき、県が土砂災害により被害を受ける恐れのある場所の地形や土地の利用状況などについて、現地調査を予定している箇所です。

土砂災害の恐れのある箇所（土砂災害警戒区域等および基礎調査予定箇所）は、千葉県ホームページ（ちば情報マップ）で公表しています。ハザードマップと併せて地域の災害リスクをご確認ください。

土砂災害から身を守るためにどこに危険な場所があるかを確認しましょう

かつ、高さが5m以上）
【社会要件】

人家または要配慮者利用施設（社会福祉施設、学校、医療施設など）が立地する箇所

■問合せ先

千葉県成田土木事務所
0476-2613631
総務課自治振興係
7713903

■危険箇所の確認方法

QRコードを読み込むか「ちば情報マップ」と検索してください。



（ちば情報マップ）